

第二次長野市環境基本計画 取組結果

基本 目標	指 標 (29項目)			H24年度			H25年度			H26年度			H27年度			計画 目標値	実 績	目標 達成	是正計画 (H29.6作成)		監視項目 (135項目)中の 遅れ気味・遅延の施策
				目標値	実 績	目標 達成	目標値	実 績	目標 達成	目標値	実 績	目標 達成	目標値	実 績	目標 達成				原因	是正計画	
① 循環型社会の構築	1	ごみの年間総排出量(t)	生活環境課	↓	129,140	135,255		133,726	133,569	○	132,133	132,272		130,706	132,424		129,140	127,683	○		全29項目(遅れ気味2項目) ・ 生ごみの堆肥化と堆肥利用の促進 →降雪量が多かったことなどにより回収量が落ち込んでいる。 ・ 災害廃棄物対策 →災害廃棄物処理計画の上位計画である「地域防災計画」は、H29.7に改訂を予定している。上位計画策定の進捗に合わせ災害廃棄物処理計画を策定することとしたため。
	2	市民一人一日当たりの家庭系ごみ排出量(g)	生活環境課	↓	548	576		569	569	○	562	563		556	568		548	548	○		
	3	事業系ごみ年間排出量(t)	生活環境課	↓	39,200	40,460		40,145	41,258		40,572	41,352		40,276	41,662		39,200	40,633		景気の回復の動向により目標未達成となった。	
	4	ごみのリサイクル率(%)	生活環境課	↑	29.9	27.9		28.4	28.4	○	28.9	25.8		27.9	25.9		29.9	25.3		紙離れ等による古紙類など資源物そのものの減量と資源物の店頭回収など行政によらない回収が活発化したため。	
	5	家庭系可燃ごみに占める生ごみの割合(%)	生活環境課	↓	50.0	54.5		53.4	31.6	○	50.0	42.2	○	41.1	44.2		50.0	45.3	○		
	6	家庭系可燃ごみ中の資源物の混入率(%)	生活環境課	↓	17.4	18.3		18.1	15.1	○	17.4	15.6	○	15.2	17.2		17.4	17.1	○		
	7	ながのエコ・サークル認定件数(累積認定件数)(件)	生活環境課	↑	262	244		249	256	○	258	268	○	273	276	◎	262	282	○		
② 良好な生活環境の確保	8	大気環境基準達成率(%)	環境政策課	→	77.78	77.78	○	77.78	77.78	○	77.78	78.95	○	78.95	78.95	○	77.78	78.95	○		全13項目(遅れ気味1項目) ・ まちの美化の推進 →懸垂幕や路面シート、バスマン等々の啓発を行ったが、ポイ捨てをする者に啓発が浸透しなかった。
	9	市内中小13河川のBOD平均値(mg/l)	環境政策課	↓	2.0	2.4		2.0	2.0	○	2.0	1.5	○	2.0	2.8		2.0	1.4	○		
	10	汚水処理人口普及率(%)	下水道整備課	↑	95.1	95.1	○	96.2	96.2	○	97.3	97.1		98.4	97.3		99.4	97.5		下水道整備が郊外まで進み人口密度の低い地域の整備であるため人口普及率の伸びが鈍化している。	
	11	ポイ捨て吸殻本数(月平均本数:長野大通り10か所)(本)	環境政策課	↓	84	82	○	82	72	○	72	106		72	122		70	120		懸垂幕や路面シート、バスマン等々の啓発を行ったが、ポイ捨てをする者に啓発が浸透しなかった。	
③ 質の高い自然環境の確保	12	ホテルを見かけることがある市民の割合(市民アンケート)(%)	環境政策課	↑	20.0	17.8		24.0	17.5		25.0	17.9		25.0	16.9		30.0	15.4		若槻・篠ノ井地区をはじめ、多くの地域でホテルの保護・復元活動の取り組みが始まっているが、市全体で見ると一般市民の特定外来種の駆除や希少動物保護に対する関心は低いことから低調に推移している。	全24項目(遅れ気味1項目) ・ 飯綱高原の復元事業の継続的な実施とそれを活用した自然環境に親しめる場と機会の創出 →報告書の提出が年度末であったため、報告書の内容を検証し、具体的な取り組みを行うまでに至らなかった。
	13	間伐面積(累積面積)(ha)	森林整備課	↑	4,680	5,164	○	5,373	5,740	○	5,970	6,202	○	6,702	6,537		5,700	6,938	○		
	14	森林体験参加者数(年間人数)(人)	森林整備課	↑	2,300	2,714	○	2,500	2,629	○	2,500	2,535	○	2,500	2,563	○	2,500	2,752	○		
	15	新規就農者数(年間人数)(人)	農業政策課	↑	30	26		30	31	○	30	6		30	27		30	33	○		
④ 豊かで快適な環境の創造	16	市民一人当たりの都市公園面積(m ²)	公園緑地課	↑	7.50	7.38		7.40	7.45	○	7.48	7.51	○	7.52	7.52	○	※ 8.2	7.63		※既存公園の施設更新を優先的に実施していたため、当初の計画を下方修正し、平成28年度については目標値を達成したが、計画目標値は達成できなかった。	全29項目(遅れ気味2項目) ・ 市民や事業者の景観保全活動への支援の実施 →新規環境形成市民団体の掘り起こしが不足した。一定の要件を満たした団体に対してなされる認定のため、認定団体数は伸び悩みの傾向にあるが、ホームページでの呼びかけを引き続き行っていく。 ・ 自然景観の保全 →自然景観の保全に取り組んでいるものの目に見える効果が出るまでに至っていない。
	17	多自然型河川の整備延長(累計)(m)	河川課	↑	4,161	4,150		4,165	4,167	○	4,247	4,255	○	4,300	4,309	○	4,300	—	○		
	18	土地区画整理事業施行済面積(累計)(ha)	市街地整備課	↑	793.3	793.3	○	793.3	793.3	○	793.3	793.3	○	793.3	838.5	○	858.8	838.5		平成28年度中に完了となる予定であった水沢上庭土地区画整理事業(A=20.3ha)について、事業者同意者への対応(直接施行)に期間を要し事業期間が1年延長となったため、目標未達となったもの(事業計画の変更認可 平成28年12月28日)	

基本 目標	指標(29項目)			H24年度			H25年度			H26年度			H27年度			計画 目標値	実績	目標 達成	是正計画 (H29.6作成)		監視項目(135項目)中の 遅れ気味・遅延の施策	
				目標値	実績	目標 達成	目標値	実績	目標 達成	目標値	実績	目標 達成	目標値	実績	目標 達成				原因	是正計画		
⑤ 低炭素 社会の 構築	19 温室効果ガス年間排出量(千t)		環境政策課	↓	2,183	2,171 (H21)	○	2,174	1,959 (H22)	○	2,061	2,267 (H23)		2,040	2,046 (H24)		2,115	2,378 (H25)		業務部門で電力使用量が増加したことと電力の排出係数(電力1kWhあたりどれだけのCO2を排出しているかを示す)が前年度に比べ大幅に上昇したことなどから、温室効果ガス排出量が増加したため。 (排出係数は平成24年度0.373、平成25年度0.509)	平成26年度の排出係数も高い値であるため、今後も総排出量の増加が見込まれる厳しい状況であるが、特に事業所・家庭に向けて、具体的な低炭素行動を促すための啓発を進めることで、温室効果ガス排出量の削減を図る。当該指標は、第二次長野市環境基本計画後期計画において、改めて計画目標値を設定し、事務事業を推進していく項目であるので、 新たな計画期間内で目標達成となるよう、普及・啓発に努める。	全29項目(遅れ気味1項目) ・省エネ機器やエコカーの普及促進 →ハイブリッド車並の低燃費性能のガソリン車(第3のエコカー)など低燃費車の選択肢が増えたこともあり、当初の想定ほどエコカー登録率が 増えなかった。
	20 一世帯当たりの温室効果ガス年間排出量(t)		環境政策課	↓	4.72	4.53 (H21)	○	4.69	4.24 (H22)	○	4.20	4.72 (H23)		4.16	4.33 (H24)		4.45	4.62 (H25)		世帯あたりの電力使用量は減少したものの、電力の排出係数(電力1kWhあたりどれだけのCO2を排出しているかを示す)が前年度に比べ大幅に上昇したことなどから、温室効果ガス排出量が増加したため。 (排出係数は平成24年度0.373、平成25年度0.509)	平成26年度の排出係数も高い値であるため、今後も総排出量の増加が見込まれる厳しい状況であるが、 家庭における低炭素行動を促すための啓発を進めることで、温室効果ガス排出量の削減を図る。	
	21 太陽光発電設置件数 (住宅用)	(累計件数)	環境政策課	↑	5,200	5,708	○	6,700	7,098	○	8,200	8,026		8,900	8,643		9,600	9,184		買取価格の下落や既築住宅への設置件数が減少したことなどから、想定した設置件数に届かなかった。一方、平均出力は増加しており、設備規模は目標を達成した。	今後も設置件数を抑制する要因は影響するものと想定されるが、広報などの、FMぜんこうじ及び環境イベント等での 太陽光発電と補助制度のPR により、普及拡大を図る。	
		(累計kw)	環境政策課	↑	20,000	24,119	○	28,000	30,587	○	36,000	35,144		39,000	38,321		38,000	41,292	○			
	22 太陽光発電設備規模 (公共施設・事業所等) (累計kw)		環境政策課	↑	1,500	3,480	○	4,240	6,808	○	10,000	7,291		7,300	7,486	◎	3,000	7,741	○			
	23 エコカー登録率(推計)(%)		環境政策課	↑	5.6	5.0		7.6	6.6		9.8	8.1		11.0	9.8		15.0	11.7		ハイブリッド車並の低燃費性能のガソリン車(第3のエコカー)など低燃費車の選択肢が増えたこともあり、当初の想定ほどエコカー登録率が 増えなかった。	ハイブリッド車を中心に登録は増えているが、電気自動車は高額な点等により増えていない。 価格の推移を見ながら、ハイブリッド車や電気自動車などそれぞれのエコカーの特性を周知し、引き続き普及啓発を図っていく。	
	24 バイオマス熱利用導入数(累計)(台)		環境政策課 森林整備課	↑	140	159	○	176	179	○	193	29	○	220	229	◎	200	244	○			
25 木質ペレット年間生産量(t)		環境政策課 森林整備課	↑	330	360	○	374	517	○	550	565	○	590	420		520	336		灯油価格の安値の継続や暖冬の影響により、木質ペレットの販売量及び消費量が減少したため。	市民に対し、長野市森のエネルギー推進事業補助金(ペレットストーブ、ボイラー設置者への補助金)制度の、より一層の普及を図り、ペレット燃料の活用を促していく。		
⑥ 市民・事業者・行政の連携 強化	26 ながの環境パートナーシップ会議の環境保全に関する年間取組件数(件)		環境政策課	↑	266	209		220	167		175	155		200	228	○	266	238		新規プロジェクトの立ち上げを行ったが、既存プロジェクトの休止もあり、全体としては取組み件数は、計画目標値に達しなかった。	新規プロジェクトの立ち上げやプロジェクトを支援する事業者の掘り起こしを図り、取組件数の増加に努める。	全11項目(遅れ気味1項目) ・「アジェンダ21ながの一環境行動計画」のプロジェクトの推進 →新規プロジェクトによる取組も始まっているが、休止せざるをえないプロジェクトもあり、全体としてプロジェクト数は現状維持に滞っている。
	27 マイバッグ持参率(%)		環境政策課 生活環境課	↑	60.0	44.9		60.0	48.2		60.0	46.7		60.0	60.3	○	60.0	65.5	○			
	28 環境学習会年間参加者数(人)		環境政策課 家庭・地域学びの課	↑	3,100	5,055	○	3,160	4,898	○	3,390	4,839	○	3,500	5,104	◎	3,100	5,707	○			

◎ :計画目標値は達成され、新たな目標値も達成
○ :平成28年度目標値を達成

29項目中、達成14項目
未達成15項目
29項目中、達成24項目
未達成5項目
29項目中、達成13項目
未達成16項目
29項目中、達成11項目
未達成18項目
29項目中、達成16項目
未達成13項目

135項目中
順調 : 78項目
概ね順調 : 49項目
遅れ気味 : 8項目
遅延 : 0項目